



2022年 12月 認定こども園 Kidsまゆみ
看護師 大西 千江美

今年のカレンダーもあと一枚になりました。年末年始、楽しいイベントが続きます。この時期大人の忙しさが中心になり、今まで身に付けてきた子ども生活習慣が乱れがちになります。クリスマスやお正月を元気に過ごすために、規則正しい生活を続けていきましょう。



○嘔吐・下痢症について

嘔吐や下痢を伴うかぜが発症する頃です。ひとくちに嘔吐や下痢を伴うかぜといわれていますが、中にはあつという間に集団に感染してしまう非常に感染力の強いウイルスによるものもあります。

集団生活の場では、流行しやすいので蔓延を防ぐためにも、嘔吐や下痢の症状があった場合、「一回だけだし…」と思っても一日様子をみましょう。

嘔吐と下痢は熱のかぜよりも体力の消耗が激しく回復にも時間がかかります。また、とくに乳幼児は脱水症状を起こしやすいので、症状がある時は早めに医師の診療を受けましょう。



○やけどに注意！！

寒い季節、ご家庭でも様々な暖房器具を使ったり、お鍋を囲んだりする機会も多いのではないのでしょうか。そんな時に気を付けたいのがやけどです。暖房機器はもちろんですがやけどの一番多い原因は熱い食べ物です。子どもの皮膚は非常に薄く弱いため皮膚の奥深くまで影響します。痛みも強く見た目の後遺症も残ることがあるためつらい事故のひとつです。大人がこういった危険があるか認識しておく必要があります。

とくに子どもを抱っこしたまま調理したり、熱いお茶を飲んだりするのもやめましょう。炊飯器の蒸気も高温になりますので要注意です。



○園医 森下先生(内科)より

- ・鼻水が出ている子が多く、中耳炎などの原因になるので受診し早めの治療を心がけましょう。
- ・乾燥肌も多数見受けられます。皮膚トラブルのもとになります。保湿ケアをしっかりしましょう。また、厚手のトレーナーを着るよりも薄手を二枚重ね着するなど調整できるような服装にしましょう。
- ・インフルエンザの免疫がない為、罹患しやすく重症化しやすいので家族みんなが接種できるようにしましょう。

インフルエンザの予防接種は終わりましたか？積極的に受けましょう。

効果が十分に出るまで、約2週間程度要するため、12月中旬までには受けましょう。かかりつけ医と相談しながら予防接種のスケジュールをたてましょう。ワクチン接種を受けることで、発症しても高熱が出ることはあるものの肺炎など合併症の重症化を防ぐことが期待できます。

○11月の感染状況・・・手足口病 3名

